

---

# 漂白された空

手塚 大一

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

漂白された空

### 【Nコード】

N2759M

### 【作者名】

手塚 大一

### 【あらすじ】

物語は、一護たちと同じ学校に通っていたが、ある日死神になった少年の話から始まる。

一護たちの戦いに、もう一人の死神がいたら？  
そんなパラレルワールドを描いた話です。

## サヨナラを告げた後

雲ひとつないまっ白い空。

……。

ここはどこだろう。

僕は、さっきまでどんよりした雲が空を埋め尽くしているビルの屋上にいた。

そして僕は、家族に、友達に、自分に、世界に、サヨナラをした。

なのに、なのに、どうして僕は今、雲ひとつない空をみているんだろう。

僕の名前は、朱音 朱雀 あかね すざく

名前に「朱」が二つも入る。

変だよな？

さっきまでは、空座町 空座第一高校の一年生だった。

でも僕はこの世界が、自分が、何もかもが嫌になって世界にサ

ヨナラを告げた

はずだった。



## 仲間の声

ドドーーーーーオーン

「！」

どこかで何かがぶつかる音がした。

びっくりして立ち上がると、さらにびっくりした。

さっきまで仰向けになって空ばかり見ていたから、気づかなかったが起き上がると僕がいた場所は、なんとも不思議な世界だった。

右側には、とてつもなく高く（高いといっても高層ビルよりは低い）堅そうな壁があり、

ずっと奥まで続いている。

左側には、平成の今の時代には、ありえない瓦屋根の家が並んでいる。

そして空だけが限りなく広い。

僕は、ここがどこだがまったく分からない。

なぜ僕がこんな場所にいるのか？

なぜ自殺をして、確かに死んだ僕がまだ生きているのか？

はっと、ある考えがうかんだ。

ここは、霊界なのではないか？

ここが、霊界と呼ばれる世界なら僕が生きている、いや、存在しているのもおかしくない。

この世界観も異様な風景も、ここが霊界なら話はつく。

僕は少し心が落ち着いた。  
ここは、僕が存在していてもいいんだ。

「大丈夫か！？黒崎！！」

「ちっ……あの細め野郎……だいじょぶか！！でっかいおっさん！！」

「おいらはだいじょうぶだ」

話声が聞こえる……

よかったほかにも人がいた。

「あのっ……うっ！！」

僕は話しかけようとして言葉が詰まった。

どう見ても普通の人たちではない。

メガネをかけたストレートヘアの男。服装がどう見ても普通じゃない。  
い。

ダサイ。

もう一人黒崎と呼ばれた男っ……！！

あの人……！！！！！！

僕がびつくりしたのは無理もない。

黒崎と呼ばれた男は、

本名 黒崎一護

僕と同じ学校の同級生。

彼の家はクロサキ医院という病院だ。

彼はオレンジ色の髪の毛をしていて、一度見たら忘れない顔だ。

中学生のころは、不良だったらしい。

だけどその黒崎くんがなぜここに……

まさか彼も死

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2759m/>

---

漂白された空

2010年10月14日19時11分発行